オンラインシラバス　中学3年生　インターナショナルコース(SG)

SG　現代文 ---------- 2

SG　古典 ---------- 3

SG　公民・政治 ---------- 4

SG　公民・経済 ---------- 5

SG　数学α ---------- 6

SG　数学β ---------- 7

SG　理科Ⅰ ---------- 8

SG　理科Ⅱ ---------- 9

SG　英語 ---------- 10

SG　English ---------- 11

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文	SG	3	佃・林

到達目標

①説明的文章については、文章の読解を通じて、社会的な課題や哲学的な論点についての視野を広げる。
②精緻な文章読解を通じて、筆者の主張を正確に理解する力を養う。
③筆者の主張を踏まえて多角的に検討し、その上で自身の意見を主体的に構築する力を身に付ける。
④自分の意見を持つ訓練を通じて、論文を書くための素養を身につける。
⑤文学的文章については、表現の豊かさを味わい、その表現の機微を敏感に捉える力を育成する。

授業の進め方・学習方法

集団授業を基本とし、ディスカッションやディベート、発表などの取り組みを通して自分の意見を構築・発表します。
漢字テストや単元のテストはその都度告知します。また記述の取組みを通じて、記述力の精度を高めていきます。

授業スケジュール

1学期	鷲田清一「語りだされるじぶん」（評論文20選） 〈私〉という記号（教科書） 三崎亜紀「私」（教科書）
1学期	岩井克人「自己利益追求と倫理」（評論文20選） 加藤周一「日本文化の雑種性」（評論文20選）
1学期期末試験	
2学期	山崎正和「情報化の脅威」（評論文20選） 長谷正人「大量消費社会とパーソナル文化」（評論文20選）
2学期中間試験	
2学期	魯迅「故郷」（教科書） 佐伯啓思「経済的な進歩と人間的なものの退歩」（評論文20選） 村上陽一郎「新しいパラダイムを求めて」（評論文20選）
2学期期末試験	
3学期	森鴎外「最後の一句」（教科書） 吉川浩満「社会問題としての倫理学」（ちくま評論選）
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心としてその他活動で総合的に評価する
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
伝え合う言葉　中学国語3	教育出版	
現代を読む評論文20選　ステップアップ	明治書院	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

現代文、特に評論文は私たちの文化や社会システムそのものを言語に落とし込んで解説したものです。評論文は世界を構造的に捉える見方そのものであると言えます。普段は気にも留めない私たちのこの世界の仕組みを、あなたはどのように見、どのように考えますか。評論や小説を通して私たちの意識そのものを相対化し、探っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古典	SG	2	大石・林

到達目標

1. 古文・漢文を多く読み、現代文に通底する日本語表現の魅力を感得する。
2. 今年度中に古典文法の基礎を学習し、高度な古典学習の基盤を作る。
3. 古典を読む前提となる時代背景や古典常識を理解し、古人の思考のパラダイムを知る。
4. 文法事項の確認と古文単語の習得を通じて、正確な解釈と内容把握に取り組む。

授業の進め方・学習方法

1. 単元毎に授業用ノートに本文を書き写し、学習事項を整理する。
2. 文章の読解を通して、古文単語・古典文法(用言・助動詞等)・古典常識について整理し理解する。
3. 古文助動詞・漢文句法マスターノート』・『体系古典文法』を利用する。
4. 『古文単語315』を引き続き活用し、基本古文単語の完全定着を目指す。

授業スケジュール

1学期	【既習事項の確認】 ・用言の活用 ・助動詞「る・らる・す・さす・しむ・つ・ぬ・たり・き・けり」 【助動詞「ず・じ・む・むず・まほし」】 「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語） 【再読文字】 「学を好む者」（論語）
1学期中間試験	
1学期	【助動詞「けむ・たし・べし・らむ・らし・めり」】 「芥川」（伊勢物語） 「蛇足」（戦国策）
1学期期末試験	
2学期	【助動詞「まじ・なり・なり・たり・り・ごとし」】 「門出」「帰京」（土佐日記） 【使役の句法】 「完璧」（十八史略）
2学期中間試験	
2学期	【助動詞の復習】 「あづま下り」（伊勢物語） 【否定の句法】 「雑説」（唐宋八家文読本）
2学期期末試験	
3学期	【年間学習事項の復習】 「桐壺」（源氏物語） 「長恨歌」（白居易集）
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心としてその他活動で総合的に評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
伝え合う言葉 中学国語3	教育出版	
体系古典文法	数研出版	
重要古文単語315	桐原書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

古典には二つの顔があります。一つには、私たちの言語文化に近い日本語としての顔。もう一つには、私たちの言語文化から遠い一種の外国語としての顔。
したがって、古典を勉強するときにはその二つの側面に気をつけることが重要です。

たとえば「昨日、何食べたっけ？」の「け」は、過去を表す助動詞「けり」が長い時間を経て変化しながら現代語に残ったものだと言われています。このように、私たちの言語文化には昔生きていた人々の文化の断片が埋め込まれています。
同時に、現代ではほとんど古語も漢語も日常的には使われません。ということは、一種の外国語学習と共通するものがあります。外国語を読む際に必要となるものは、語彙と文法です。こつこつとこの二つを補完しながら積み重ねていくことが古典でも大切になってきます。近さと遠さ。これらを意識して楽しく古典を学習していきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	公民(政治)	SG	2	岸野

到達目標

公民政治分野では、過去の人々がどのようにして基本的人権を獲得し、社会を発展させてきたのかを学ぶとともに、社会集団における利害の対立を調整するための仕組みなどといった現代を生きる私たちがより良く生きるための方法について考える。こうした公民的資質の向上が本授業における到達目標である。

授業の進め方・学習方法

(1)学習内容に関する講義　→　(2)問題発見・討論・意見・発表
学習内容はインプットしただけでは定着が図れない。いったん脳に入った知識をアウトプットすることで整理・定着が図られる。アウトプットにおいては、単なる問題演習だけにとどまらず、グループディスカッションなどを適宜行う予定である。自分以外の意見との対立から、より発展的な考え方へ昇華させる思考力、多角的な考察力を身につけてほしい。
日々の時事問題に関しては、定期試験で出題する予定でもあるので、テレビのニュースや新聞の政治・経済に関する記事などに日々、関心を持ってもらいたい。
なお、本科目は高等学校「公共」の内容を中学3年生の早期段階から学習することを企図して展開する。そのため、従来の公民政治分野に加えて法教育や主権者教育などを主題とした探究活動やプロジェクト基盤学習などを随時実施する予定である。

授業スケジュール

1学期	(1)民主政治の基本原理 ①政治と法の機能 ・政治と社会，政治と国家　・主権の概念，民主主義　・国家と法，法の分類 ・法の支配，国家の三類型 ②社会契約説と人権の保障 ・自然法と自然権　・ホッブズ，ロック，ルソーの社会契約説 ・イギリスにおける市民革命と自由権の確立　・アメリカ，フランスにおける市民革命の展開 ・参政権，社会権の確立　・人権の国際的保障
1学期中間試験	
1学期	(2)日本国憲法の成立 ①大日本帝国憲法の制定 ・大日本帝国憲法の制定過程　・大日本帝国憲法の特徴 ②日本国憲法の制定 ・日本国憲法の制定過程とその特徴　・国民主権と象徴天皇制　・国事行為 (3)平和主義 ①憲法9条と自衛隊 ・憲法9条に関する政府見解と解釈　・憲法9条をめぐる司法判断 ②日本の防衛政策 ・文民統制　・非核三原則　・集団的自衛権の禁止 ③日米安全保障条約 ・米軍基地問題　・有事法制 ④国際社会への貢献 ・PKO協力法　・自衛隊の海外派遣に関する法律
1学期期末試験	
2学期	(4)基本的人権の尊重 ①平等権 ・法の下の平等　・様々な差別/外国人の権利 ②自由権 ・精神の自由　・身体の自由　・経済の自由　・公共の福祉と人権の関係 ③社会権 ・生存権，教育を受ける権利，労働者の権利 ④参政権と請求権 ⑤新しい人権 ・プライバシーの権利　・知る権利　・アクセス権　・環境権　・自己決定権
2学期中間試験	
2学期	(4)基本的人権の尊重 ④参政権と請求権 ⑤新しい人権 ・プライバシーの権利　・知る権利　・アクセス権　・環境権　・自己決定権 (5)国会の構成と権限 ①国会の組織 ・二院制の仕組み　・委員会制度 ②国会の種類と国会議員の特権 ③国会の権限 ・立法の過程，衆議院の優越　・国政調査権，弾劾裁判所
2学期期末試験	
3学期	(6)議院内閣制と行政 ①内閣の仕組みと権限 ②日本の行政機構 ③行政機能の拡大 ・行政の肥大化と行政の民主化 (7)裁判所 ①司法の独立 ・司法権の独立と裁判官の独立 ②違憲立法審査権 ③裁判制度 ・三審制のしくみ　・検察審査会 ④司法制度改革 ・裁判員制度　・被害者参加制度
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の得点を基準として、日々の確認テストや課題の提出状況・提出課題の取り組み状況を評価点として加算する。なお、授業への平素の取り組みは、確認テスト同様に平常点に加算する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
新しい社会　公民	東京書籍	
高等学校　公共	第一学習社	
最新図説　公共	浜島書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

公民とは、社会を構成している私達そのもののことである。私達一人ひとりが社会の構成員としての自覚（＝公民的資質）を高め、よりよい社会を作っていくことこそがこの授業の目的である。より深く社会について考え、理解し、貢献・寄与できる姿勢を身につけてもらいたい。そしてメディアで取り上げられるニュースなどを通じて、現代では何が起こっているのかを知るとともに、その出来事の裏にどのような背景、課題があるのか、考えてほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	公民(経済)	SG	2	近藤

到達目標

公民の経済分野では、私たちの身の回りの基本的な経済の仕組みを学習することで、世の中の仕組みを学ぶとともに政治や経済政策の是非を自ら考えれる力を養う。

授業の進め方・学習方法

①授業時に板書を行い、内容を解説していきます。
②資料プリントや教科書の資料を使い、写真やグラフなどを講義内容の理解を補足します。
③テスト前は、ノートやプリントを有効に利用し、必ず総復習を行ってからテストに臨みましょう。

授業スケジュール

1学期	①市場経済の仕組み　・市場経済とは　・需要と供給 ②生産のしくみ【市場経済と計画経済】
1学期中間試験	
1学期	①経済体制の特色と現代社会（つづき） ②価格の働き　・市場の独占　・政府の役割
1学期期末試験	
2学期	③経済社会の変容　・資本主義の発展　　・社会主義 ④企業の働き・株式会社の仕組み
2学期中間試験	
2学期	⑤景気変動と物価　・景気の循環　・物価の変動 ⑥国富と国民所得　⑦私たちの生活と財政・政府の役割と財政の課題
2学期期末試験	
3学期	⑧金融の役割 ⑨外国為替の仕組み（円高と円安）
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	~20	
小テストなど	~20	
授業での取り組み	~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
公民	東京書籍	
公共	第一学習社	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

新聞やテレビなど「ニュース」に触れ、自分で疑問を持ったり考えるよう努めてください。さらに、その疑問を調べたり、友人同士で意見交換ができると「公民」への興味を深められます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学α	SG	3	山口

到達目標

数学を学ぶ上で基礎となる知識の習得と技能の習熟を図る。また、様々な事象を分析して情報を整理する力、得られた情報を活用して問題解決の方法を探る姿勢
身に付けることを目指し、答えを出すだけでなく、考えたことを論理的に表現する力を養う。

授業の進め方・学習方法

〈授業の進め方〉授業は講義を中心に基礎を確認し、演習や小テストに取り組みながら定着を図る。
〈学習方法〉 ①授業ノートを丁寧にとる。
②授業があった日には帰宅後にノートを読み返す。
③宿題だけで終わりにせず、積極的に問題集に取り組む。
④積極的に質問する。

授業スケジュール

1学期	深進　数学Ⅰ 第1章　数と式　・多項式 ・実数
1学期中間試験	
1学期	第1章　数と式　　・1次不等式
1学期期末試験	
2学期	第2章　2次関数　　・関数とグラフ ・2次関数の最大と最小
2学期中間試験	
2学期	第2章　2次関数　　・2次関数と方程式・不等式
2学期期末試験	
3学期	深進　数学Ⅰ 第3章　集合と命題　・集合と命題 深進　数学A 第3章　数学と人間の活動 ※整数を扱います
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
深進　数学Ⅰ	啓林館	
深進　数学A	啓林館	
Grasp　数学Ⅰ＋A	啓林館	
Forcus　Gold数学Ⅰ＋A	啓林館	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

今年度より、高校数学の内容を扱っていきます。特に、今年度学習する内容は高校数学の土台になり、来年度以降の学習内容にも重要な役割を果たします。学習
中で生じた疑問は放っておくことなく、丁寧に確認していきましょう。また、自分か理解したことを表現するのはなかなか難しいことです。わかった、で終わりにせず、
れを伝えられるようになることを目指し、問題集や参考書を利用して、考え方や説明の流れを書く練習をしましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学β	SG	2	中田

到達目標

数学を学ぶ上で基礎となる知識の習得と技能の習熟を図る。また、様々な事象を、分析して情報を整理する力、得られた情報を活用して問題解決の方法を探る姿勢を身に着けることを目指し、答えを出すだけでなく、考えたことを論理的に表現する力を養う。

授業の進め方・学習方法

＜授業の進め方＞
教科書を基本として、適宜追加問題などを授業中に提示していく
＜学習の方法＞
①授業中の話をよく聞き、適宜板書をノートに転記する
②授業中に指示のあった問題をノートに解き、解き方を身に着ける
③確認テストに向けた準備をし、確認テストに臨む

授業スケジュール

1学期	深進　数学A 【第1章】場合の数と確率 　序説　集合 　第1節　場合の数 　第2節　順列・組み合わせ
1学期中間試験	
1学期	第3節　確率とその基本性質 　第4節　いろいろな確率
1学期期末試験	
2学期	第4節　いろいろな確率 　第5節　期待値 深進　数学Ⅰ 【第5章】データの分析 　第1節　データの整理と分析 　第2節　統計的探究プロセス
2学期中間試験	
2学期	深進　数学Ⅰ 【第4章】図形と計量 　　第1節　鋭角の三角比 　　第2節　三角比の拡張 　　第3節　正弦定理と余弦定理
2学期期末試験	
3学期	第3節　正弦定理と余弦定理 　第4節　図形の計量
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
深進　数学Ⅰ・A	啓林館	それぞれ別の教科書となります。
Grasp　数学Ⅰ＋A	啓林館	
Focus　Gold数学Ⅰ＋A	啓林館	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

今年度より、高校数学の内容を扱っていきます。特に、今年度学習する内容は高校数学の土台になり、来年度以降の学習内容にも重要な役割を果たします。学習中で生じた疑問は放っておくことなく、丁寧に確認していきましょう。また、自分か理解したことを表現するのはなかなか難しいことです。わかった、で終わりにせず、それを伝えられるようになることを目指し、問題集や参考書を利用して、考え方や説明の流れを書く練習をしましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科Ⅰ	SG	1	井上・佐藤

到達目標

力や運動、エネルギー、電磁気に関わる自然現象の本質や仕組みを知る。
具体的には、以下の目標達成に向かって段階的に取り組む。
①各現象の特徴を理解し、具体的に自身の言葉で説明することができるようにする。
②各現象を数値や数式をもちいて表す手法に親しむ。
③必要に応じて高等学校で扱う基本的概念も体系的に取り入れることにより、自然現象をより正確に理解する。

授業の進め方・学習方法

教科書、板書、プリント、ICT機器などを活用します。ノートまたはプリント、教科書、PCは必ず持参してください。授業は1年間を通して物理分野となります。もし、「授業が難しい！進度が速い！」と感じた生徒は、スタディサプリを使った予習・復習も効果的です。また、クラスメイトと教え合うことでお互いの理解が深まります。次の授業が始まるまでに前回までの「わからないところ」を残さない姿勢を貫きましょう。どうしてもわからないところが残ってしまった場合は積極的に質問をしてください。やや難易度の高い内容を扱うこともありますが、予習・復習をきちんとすれば大丈夫です。

※定期試験にむけて
知識の暗記やパターン問題の機械的習得に走らないようにしましょう。一つ一つの疑問をていねいに解決させ、自分の言葉で用語や式の説明ができるようになりましょう。

授業スケジュール

1学期	教科書：系統的に学ぶ中学物理(文理) 第5章　力と運動 　第2節　物体の運動と力 　第3節　重力による運動 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 等速直線運動、等加速度直線運動、速度と加速度、自由落下、投げ上げ、投射、放物運動、理科実験の学習内容などに関連する各事項について、定義や意味を理解しているかどうかや自身の言葉で説明できるかどうかを問います。
1学期中間試験	
1学期	第5章　力と運動 　第4節　運動の3法則 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 中間までの内容に加えて、慣性の法則、運動の法則、作用・反作用の法則（復習）、理科実験の学習内容などについて、定義や意味を理解して自身の言葉で説明できるかどうかを問います。
1学期期末試験	
2学期	第6章　仕事とエネルギー 　第1節　仕事 　第2節　力学的エネルギー ＜定期試験範囲のまとめ＞ 仕事と仕事率、位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存、理科実験の学習内容などに関連する各事項について、定義や意味を理解しているかどうかや自身の言葉で説明できるかどうかを問います。
2学期中間試験	
2学期	第3章　電流回路 　第1節　電流・電圧 第4章　電流のはたらき 　第1節　電流のはたらき ＜定期試験範囲＞ 中間までの内容に加えて回路、電流と電圧、オームの法則、合成抵抗、ジュール熱、電力と電力量、理科実験の学習内容などに関連する各事項について、定義や意味を理解しているかどうかや自身の言葉で説明できるかどうかを問います。
2学期期末試験	
3学期	第4章　電流のはたらき 　第2節　電流と磁場 第6章 　第3節　いろいろなエネルギーの移り変わり ＜定期試験範囲＞ 電流と磁場、フレミングの法則、電磁誘導、理科実験の学習内容 などに関連する各事項について、定義や意味を理解しているかどうかや自身の言葉で説明できるかどうかを問います。
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内で扱った内容の基礎事項の確認とともに、定義や意味を中心とした本質的な内容理解を問う問題を多く出題します。むやみな暗記に走らず、一つ一つの内容をどこまでも自分自身が納得いくまで理解しましょう。なお、期末試験では中間試験の範囲も出題し、学年末試験では、1・2学期の内容も出題します。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
未来へ広がるサイエンス	啓林館	
系統的に学ぶ中学物理	文理	
系統的に学ぶ中学物理（問題集）	文理	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

力学や電磁気の諸現象を式を用いてあらわし、その現象の本質を読み解くのが物理という科目の特徴です。数学を使って自然科学を表現する練習行います。世界の仕組みを記述する物理の奥深さや面白さの片りんを一緒に体感していきましょう！！

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科Ⅱ	SG	2	山田

到達目標

1学期は地球そのものの構造について学びます。
2学期はその地球の周りを取り巻く大気について学び、3学期は宇宙について学びます。1年を通して、地学の基本的な内容を全て学習していきます。内容によっては、高校の地学基礎の内容も含まれています。自ら興味を持ち、積極的に学習していきましょう。

授業の進め方・学習方法

文理の教科書を使用して授業を進めます。
定期試験には、授業で扱った事項の他、理科実験で扱ったものも出題されます。
第一学期期末試験以降は、それ以前に学習した範囲も出題されます。

授業スケジュール

1学期	第1章　地球と地震・火山 　第1節　地球の内部構造 　　・地球の外観 　　・地球の構造 　第2節　プレートテクトニクスと地形 　　・地球の大地形 　　・世界のプレート分布とプレート境界 　　・島弧として日本列島 　第3節　地震のしくみ 　　・地震の発生と震源 　　・地震の大きさと地震波の伝わり方 　　・世界と日本の地震分布 　　・プレートの運動と地震の種類 　　・地震と地殻変動 　　・地震災害と防災 　第4節　火山のしくみ 　　・火山の分布 　　・プレート運動と火山 　　・火山噴出物 　　・噴火様式と火山の形 　第5節　マグマからできた火成岩 　　・火成岩のいろいろ 　　・火成岩のでき方 ＜定期試験範囲のまとめ＞ プレートテクトニクス・地震・火山について。 理科実験の内容も試験範囲に入る。
1学期中間試験	
1学期	第2章　大地の変化 　第1節　地表の変化 　　・山地をつくる岩石から平野の土砂へ 　　・れき、砂、泥の大きさ 　第2節　地表からわかる地球の過去 　　・地層と堆積岩 　　・地層の重なり方からわかること 　　・化石からわかること 　　・大地の変動　ーしゅう曲と断層 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 中間試験までの範囲も含む。 堆積岩・地層について。 理科実験の内容も試験範囲に入る。
1学期期末試験	
2学期	第3章　地球の大気 　第1節　地球の熱収支 　　・放射平衡 　　・地球の気温 　第2節　大気の大循環 　　・大気の成分 　　・大気の構造 　　・大気圧 　　・風 　　・大気の大循環 　　・ジェット気流 　　・熱帯収束帯、亜熱帯高圧帯 　　・大気の流れが熱を運ぶ ＜定期試験範囲のまとめ＞ 熱収支・大気の構造・大気の大循環について。 理科実験の内容も試験範囲に入る。
2学期中間試験	
2学期	第4章　天気とその変化 　第1節　天気とその変化 　　・大気中の水 　　・空気の上昇と雲 　　・高気圧と低気圧 　　・熱帯低気圧と台風 　　・気象観測 　　・天気図の見方 　第2節　日本の季節と天気 　　・日本の天気を特徴づけるもの 　　・日本の季節と天気 第5章　天体の運動 　第1節　さまざまな天体と宇宙の大きさ 　　・星空をながめてみよう 　　・夜空の観測方法 　　・さまざまな天体 　　・地球と宇宙の大きさ 　　・恒星の明るさ 　　・恒星の色と温度 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 中間試験までの範囲も含む。 天気・天体の動きについて。 理科実験の内容も試験範囲に入る。
2学期期末試験	
3学期	第5章　天体の運動 　第2節　天体の動き 　　・地球上での方位と時刻 　　・地球から見た天体の動き 　　・惑星の公転 　　・月の満ち欠けと見かけの動き 　　・地球の公転と季節変化 第6章　地球と宇宙 　第1節　太陽と月 　第2節　太陽系 　第3節　銀河系と宇宙 第7章　地球と人間 　第1節　地球の歴史 　第2節　大地の変動による災害 　第3節　人間活動と地球大気 ＜定期試験範囲のまとめ＞ 1年間の範囲をすべて含む。 堆積岩・地層について。 理科実験の内容も試験範囲に入る。
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	理科第1分野第2分野を合算した点数をもとに算出されます。
レポート	0～20	「理科実験」の評価は、 「理科」とは別に、レポートの質や実験への取り組み等でつけられます。
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	これらの評価をもとに

教科書・教材

書名	出版社	備考
系統的に学ぶ中学地理	文理	
系統的に学ぶ中学地理　問題集	文理	
未来へ広がるサイエンス	啓林館	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

地学では、空間的にも時間的にもスケールが大きな話を学習します。悠大で豊かな自然がどのようにできたのか、宇宙の話など、わくわくする学習を楽しみましょう！

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英語	SG	5	田邊

到達目標

●Listening：英検2級レベルの語彙レベルの会話や説明文を聞いて、その内容を理解することができる。
●Speaking：日常生活における意思疎通、ある話題について自分の意見を述べたり、意見交換をしたりすることができる。
●Reading：既習事項のみで構成された文章構造であれば、ある程度の長さの様々なジャンルの文章を読み、理解することができる。
●Writing：与えられたトピックについて、論理性の整ったある程度まとまった文章を書くことができる。

授業の進め方・学習方法

1学期は、引き続き教科書をメインに未習文法事項の学習を進めることを授業の中心とします。同時に、既習文法の復習や文章読解に取り組む時間も確保し、中学生として身に着けておきべき英語力の完成を計ります。2学期以降は、演習を中心とした復習と並行し、高校英語の基礎内容の学習に進みます。

授業スケジュール

1学期	≪New Treasure Stage2≫ Lesson 9【メイン単元：分詞の形容詞的用法】 Lesson 10【メイン単元：関係代名詞】
1学期中間試験	
1学期	≪New Treasure Stage2≫ Lesson 11【メイン単元：不定詞の特別用法】 Lesson 10【メイン単元：間接疑問文・仮定法】
1学期期末試験	
2学期	≪高校英語へのアクセス≫ Lesson 1 ~ 8
2学期中間試験	
2学期	≪Vision Quest 高校英語入門≫ Lesson 9 ~ 12, 14
2学期期末試験	
3学期	≪Vision Quest 高校英語入門≫ Lesson 13, 15 ~18
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	各学期の定期試験を基に評定の80%を決定します。 平常点は、課題の提出状況・定期試験を除く各種テスト・授業内の取り組みなどを基に算出します。
レポート	20	
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材

書名	出版社	備考
New Treasure Stage2 Third Edition	Z会編集部	
New Treasure Stage2 Third Edition 文法問題集	Z会編集部	主に宿題として使用
New Treasure Stage2 Third Edition CDs	Z会編集部	自宅学習用として使用
キクジュク【高校英熟語】	アルク	朝の小テストで使用
高校英語へのアクセス	啓林館	2学期から使用

参考書

書名	著者	出版社	備考
Vision Quest 総合英語 Ultimate		啓林館	2学期から使用

担当者からのアドバイス

中学の復習をしつつ、4年後の大学入試の準備をしていきたいと思います。解答する際には必ず根拠を明確にしてほしいと思います。1年間よろしくお願いいたします。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	English	SG	3	Mr. Croft

到達目標

The students in this course will be taught to use English to communicate in the modern world. The goal is for them to speak English in a natural, confident way to express their ideas and exchange opinions and information. They will also be able to start to use English to study academic subjects. In particular, instructions for classes taken in English will be emphasized. Focus in the third year will be on proactive learning; being able to apply the skills they already have to finding answers to more challenging English problems independently. This is a four skills course, but the majority of class time will be spent on improving students' speaking skills.

授業の進め方・学習方法

Whilst students will be using Solutions Intermediate (3rd Edition) as the core text for this course, they will be also be using a variety of supplementary materials, games, language activities and pronunciation aids. To improve listening, students will be using a variety of independently developed material. Students will also be encouraged to complete self-study materials which include grammar, vocabulary building and writing exercises. Students will be encouraged to read as many English books as possible.

授業スケジュール

1学期	Introduction: Holidays, present tense contrast, adjectives, articles and will plus going to. Unit 1A: Ages and stages - talking about the different stages of peoples' lives. Unit 1B: Past tense contrast
1学期中間試験	
1学期	Unit 1C Family tensions Unit 1D used to Unit 1E Phrasal verbs Unit 1F Adolescence Unit 1G Exchange programmes
1学期期末試験	
2学期	Unit 3A: Parts of the bBody Unit 3B: Speculating and Predicting Unit 3C: The body's limits Unit 3D: Future continuous and perfect Unit 3G: Photo Description
2学期中間試験	
2学期	Unit 4A: Describing house and homes Unit 4B: Comparisons Unit 4C: Paraphrasing simple verbs Unit 4D: Imaginary situations Unit 4E: Using do/make/take correctly
2学期期末試験	
3学期	Unit 6A: Describing character Unit 6B: Defining relative clauses Unit 6C: Listening for linking words and phrases Unit 6D: Non-defining relative clauses
学年末試験	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60%	Two main kinds of test will be given: speaking and writing. The writing tests will be held during the regular test periods. The speaking tests are not summative, but formative in nature, so will be held throughout the term. There will also be some in-class tests such as listening tests. The regular timely submission of homework also forms part of the students assessment.
レポート		
小テストなど	20%	
授業での取り組み	20%	

教科書・教材

書名	出版社	備考
Solutions: Intermediate - Student's Book	OUP	978-0-19-450449-2 Third Edition
Solutions: Intermediate - Workbook	OUP	978-0-19-450452-2 Third Edition

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

1. Aim to improve, not to be perfect. Do not worry about making mistakes!
2. Collaborate with your classmates to create a positive and supportive learning environment.
3. Preview all your lessons.
4. Review all your lessons.
5. Don't give up and if you forget something; learn it again.
6. Do all your homework and submit it before the deadline!
7. Ask if you don't understand anything.
8. Read as much as you can.
9. Go online and access English.
10. Watch movies, listen to songs and learn to enjoy English.